

重点事務事業進行管理表

年度	令和6年度	No.	5	進行管理者	企画財政部長	
事務事業名	行政デジタル化推進事業（外部デジタル人材活用事業）					
事業の概要	本市のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進施策において最新の情報通信技術、民間企業や国、地方公共団体等の動向を反映させるため、デジタル技術の活用に関する豊富な知識及び経験を有するデジタル化推進アドバイザー（外部デジタル人材）の知見による客観的かつ効果的な助言及び技術的支援等を活用する事業					
これまでの経過	自治体DXの取組を推進する上でデジタル技術の活用に関する豊富な知識及び経験を有する人材が必要となったことから、令和5年度から外部デジタル人材の活用を図っている。					
本年度の予算措置	総事業費	8,415千円	うち 一般財源	8,415千円		
本年度の目標	外部デジタル人材の知見を生かし、DX推進に関する課題の整理と分析を行うとともに、行政手続のオンライン化、AI・RPAなどのデジタルツール活用に向けた業務効率化、文章生成AIの活用方法や効果検証、システム標準化への対応及び職員のDXマインドの醸成の取組を推進する。					
上半期の計画と実績	計画	外部デジタル人材の知見を生かし、行政手続のオンライン化、業務効率化、職員のDXマインドの醸成、デジタル推進員の活用に関すること等を推進する。（9月末まで）	実績	外部デジタル人材の知見を生かし、以下の事業を実施した。 ・行政手続のオンライン化に向け、阻害要因となる課題の抽出及び課題解決に向けたヒアリングシートの作成 ・DX相談会を8月に開催（5課が参加） ・10月開催のDXマインド研修（一般職向け）の開催に向けた資料作成		
下半期の計画と実績	計画	外部デジタル人材の知見を生かし、上半期に実施した内容を更に推進するほか、次期情報化基本計画の策定に向けて、中・長期的な視点から課題の整理及び解決策について検討する。（令和7年3月末まで）	実績	外部デジタル人材の知見を生かし、以下の事業を実施した。（10月～令和7年3月） ・一般職及び管理職に対しDXマインド研修を開催、その後アンケートの実施 ・RPAの導入拡大に向けたヒアリングを実施し、児童館へのRPA導入を検討 ・DX推進相談会を利用した粗大ごみ収集申込受付業務の一元管理化の提案 ・次期情報化基本計画の策定に先立つ検討		
中間評価	達成度	目標以下	・	目標どおり	・	目標以上
	取組の成果	おおむね当初の計画どおりに進めており、今年度中の目標に掲げた外部デジタル人材の知見を生かしたDX推進の取組を実現できる見込みである。				

別記様式（第7条関係）

期 末 評 価	達 成 度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上			
	取 組 の 成 果	おむね当初の計画どおりに進めることができ、今年度中の目標に掲げた外部デジタル人材の知見を生かしたDX推進の取組を実現できた。			
	事 業 費 の 実 績	総事業費	8,301千円	うち 一般財源	8,301千円
	今 後 の 方 針	外部デジタル人材の知見を生かし、EBPMの推進に関する支援及び助言に沿い、業務の精度向上を実感できるようなモデルケースを構築する。 また、システム査定時の確認観点及び業務プロセスを理解し、共通様式を整え、トライアル査定を経て、実行していく。			

(日本産業規格A列4番)